

Parallels Desktop®

スタートアップ

ISBN: N/A
Parallels
13755 Sunrise Valley Drive
Suite 325
Herndon, VA 20171
USA
Tel: +1 (703) 815 5670
Fax: +1 (703) 815 5675

Copyright © 1999-2009 by Parallels. All rights reserved.

著作権保有者による書面による事前の許可なしに、いかなる形式によっても本書もしくはその派生物を配布することを一切禁じます。

Virtuozzo、Plesk、HSPcomplete、およびそれらのロゴはParallelsの商標です。

Virtuozzoは特許を取得済みの仮想化テクノロジーであり、アメリカ合衆国の特許番号7,099,948、7,076,633、6,961,868によって保護されます。アメリカ合衆国において特許出願中です。

PleskおよびHSPcompleteは特許を取得済みのホスティングテクノロジーであり、アメリカ合衆国の特許番号7,099,948、7,076,633によって保護されます。アメリカ合衆国において特許出願中です。

Intel、Pentium、およびCeleronはIntel Corporationの登録商標です。

IBM DB2はInternational Business Machines Corp.の登録商標です。

MegaRAIDはAmerican Megatrends, Inc.の登録商標です。

PowerEdgeはDell Computer Corporationの商標です。

目次

イントロダクション	4
Parallels Desktop の概要.....	5
ヘルプ一覧.....	6
ご意見の送付先.....	7
主要な用語.....	7
Parallels Desktop のインストールとアップグレード	8
システム要件.....	8
Parallels Desktop のインストール.....	9
Parallels Desktop 5 へのアップグレード.....	13
Parallels Desktop の起動	15
ようこそウィンドウ.....	16
仮想マシンの追加	18
新しい仮想マシンの作成.....	18
仮想マシンを開くおよびインポート.....	21
Parallels Tools のインストールとアップデート.....	22
Parallels Desktop のアクティベート	23
仮想マシンの管理	25
[Parallels 仮想マシン] 一覧.....	25
仮想マシンでの主要動作の実行.....	29
仮想マシンの構成.....	33
索引	35

第 1 章

イントロダクション

Parallels Desktop® は、Intel ベースの Mac で動作中の複数の仮想マシンによるハードウェアリソースの共有を通じて、リソースの効率的な使用を実現します。

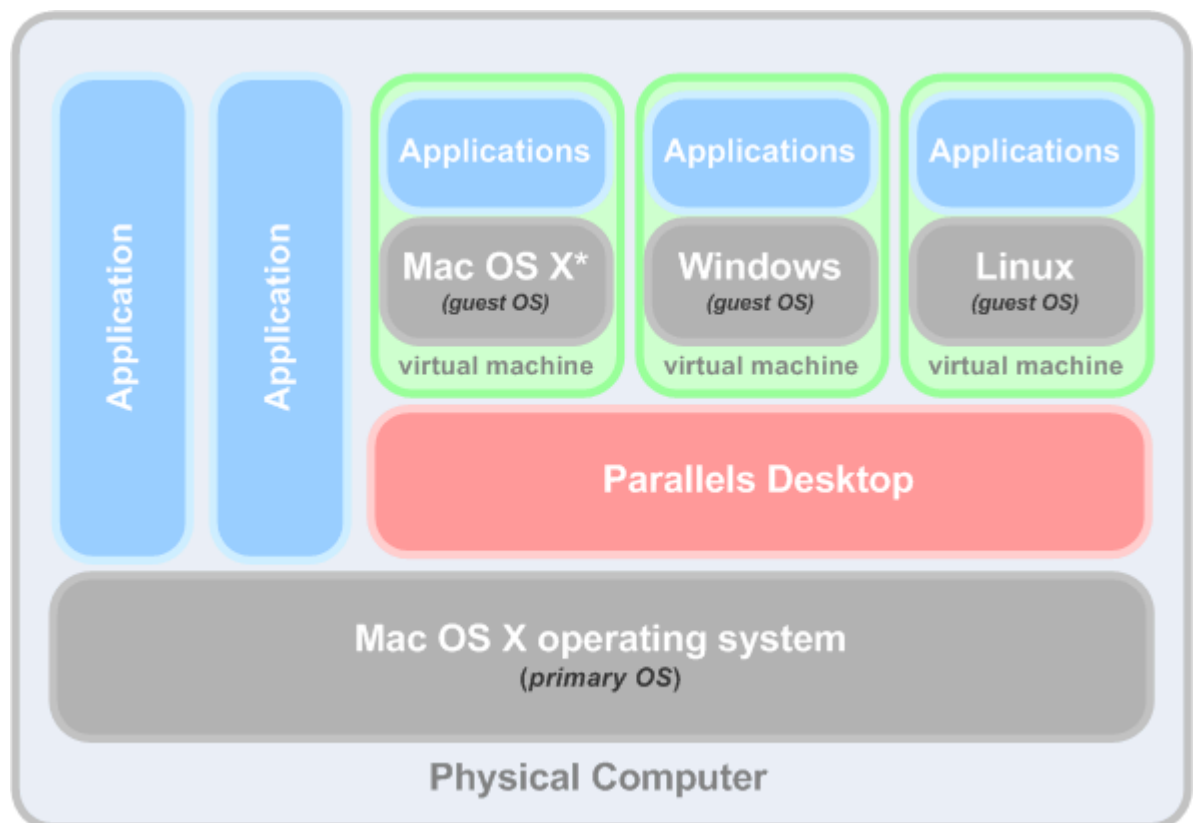
この章では、Parallels Desktop for Mac およびこのガイドについての概要を説明します。

この章の構成

Parallels Desktop の概要.....	5
ヘルプ一覧.....	6
ご意見の送付先.....	7
主要な用語.....	7

Parallels Desktop の概要

Parallels Desktop は、Intel プロセッサ (1.66 GHz 以上) を搭載した Macintosh コンピュータ上に仮想マシンを作成するための仮想化ソリューションです。Windows、Linux、Mac OS X などのオペレーティングシステムを各仮想マシンにインストールして、これらのオペレーティングシステムやそのアプリケーションを Mac OS X のアプリケーションと並べて使用できます。



* You can install only the server versions of Mac OS X in virtual machines.

Parallels の受賞歴のあるハイパーバイザベースの仮想化テクノロジーを基盤とする Parallels Desktop により、次の操作が可能となります。

- 使いやすく高性能な仮想マシンを作成する
- 仮想マシンで 32 ビットと 64 ビットのオペレーティングシステムを使用する
- Mac を再起動することなく、Windows や Linux のアプリケーションと Mac OS X のアプリケーションを並べて使用する
- Mac および仮想マシンのファイルやアプリケーションを同じように操作する
- 物理コンピュータやサードパーティの仮想マシンから Parallels 仮想マシンを作成する

Macintosh コンピュータ上で実行する複数のオペレーティング システムの操作性を強化するため、Parallels Desktop for Mac には Parallels Transporter³、Parallels Mounter、Parallels Image Tool、および Parallels Compressor³ といったユーティリティが含まれます。

ヘルプ一覧

Parallels Desktop では、必要な情報に複数の方法でアクセスできます。

- **Parallels Desktop ヘルプ。** このドキュメントには、製品とその使用方法、およびトラブルシューティングについての詳しい情報が含まれています。Parallels Desktop ヘルプを開くには、Parallels Desktop の [ヘルプ] メニューの [Parallels Desktop ヘルプ] を選択します。
- **コンテキストに応じたヘルプ。** F1 キーを押すと、アクティブなウィンドウのヘルプ ページが表示されます。
- **オンライン マニュアル**
『http://www.parallels.com/products/desktop/pdfm5_docs-en_US/』。Parallels Desktop および Parallels Transporter や Parallels Image Tool など、他の Parallels 製品の PDF ドキュメント。オンライン マニュアルのページを開くには、Parallels Desktop の [ヘルプ] メニューの [オンライン マニュアル] を選択します。
- **Parallels Command Line Reference Guide。** このドキュメントには、Parallels Desktop およびその仮想マシンをターミナルから管理するための `prlctl` コマンドラインユーティリティの使用法が記載されています。ドキュメントにアクセスするには、弊社 Web サイトのオンライン マニュアル
『http://www.parallels.com/products/desktop/pdfm5_docs-en_US/』のページに移動してください。
- **Parallels API references および SDK programmer's guide。** これらのガイドは主に IT プロフェッショナルのためのもので、弊社 Web サイトのオンライン マニュアル
『http://www.parallels.com/products/desktop/pdfm5_docs-en_US/』のページで参照できます。
- **Parallels Web サイト** 『<http://www.parallels.com/>』。製品のヘルプ ファイルおよび FAQ セクションが含まれているサポート Web ページを参照してください。
- **Parallels 技術情報 (Knowledge Base)** 『<http://kb.parallels.com/>』。このオンライン リソースには、Parallels Desktop および他の Parallels 製品の使用に役立つ記事がまとめられています。

ご意見の送付先

当ガイドの表記ミスを見つけた場合や、当ガイドをより良いものにするアイデアがある方は、弊社までご連絡いただければ幸いです。

コメントの送信には、Parallels フォーラム
『<http://forum.swwsoft.com/forumdisplay.php?s=&forumid=239>』をご利用いただけます。

メールによるコメントの送信は、sales@parallels.co.jp までお願い致します。コメント送信の際には、章、セクション、サブセクション名や該当部分の文章を提示して問題を特定しやすいようにしていただきますようお願い致します。

主要な用語

ゲストオペレーティングシステム (ゲスト OS): 仮想マシンにインストールされるオペレーティングシステムです。Windows、Linux、Mac OS X など、サポート対象のオペレーティングシステムをインストールできます。

プライマリオペレーティングシステム (プライマリ OS): Mac の電源をオンにしたときにロードされるオペレーティングシステム、すなわち Mac OS X です。

仮想マシン (VM): Mac 内でエミュレートされるコンピュータです。仮想マシンごとに専用の仮想ハードウェアがあり、各仮想マシンにはオペレーティングシステムが必要です。インストールされたオペレーティングシステムとそのアプリケーションはその仮想マシン内のみで機能し、物理ハードウェアリソースを Mac と共有します。

第 2 章

Parallels Desktop の インストールとアップグレード

この章では、Parallels Desktop for Mac のインストールとアップグレードの各プロセスについて、そのシステム要件や詳細な実行手順などの重要な事項について説明します。

インストールとアップグレードの手順はほぼ同じです。唯一の相違点は、Parallels Desktop 5 へのアップグレード時にはインストーラによって Mac から Parallels Desktop 4 が削除される点です。

この章の構成

システム要件	8
Parallels Desktop のインストール	9
Parallels Desktop 5 へのアップグレード	13

システム要件

Parallels Desktop は、下記の要件を満たす Intel ベースの Mac にインストールできます。

ハードウェア要件

- Intel プロセッサ (1.66 GHz 以上) を搭載した Macintosh コンピュータ。64 ビットのオペレーティング システムを仮想マシンで実行するには、Intel Core 2 以降のプロセッサが必要です。
- 最低 1 GB のメモリ (2 GB を推奨)。

注意: Mac は、Mac OS X と Mac のアプリケーションを実行するための十分なメモリに加え、仮想マシンのオペレーティング システムとその仮想マシンにインストールされるアプリケーションを実行するために必要なメモリを搭載している必要があります。

- Parallels Desktop のインストール用ブート ボリュームで約 300 MB のディスク空き領域。
- 各仮想マシンに約 15 GB のディスク空き領域。

ソフトウェア要件

- Mac OS X Leopard v10.5.2 以降
- Mac OS X Tiger v10.4.11 以降

お使いの Mac OS X のバージョンやプロセッサの種類、メモリ容量を確認するには、[Apple] メニューの [この Mac について] を選択します。

追加要件

仮想マシンにインストールするオペレーティング システムのインストール メディアが必要です。

Parallels Desktop のインストール

Parallels オンラインストアから Parallels Desktop を購入した場合は、Parallels ダウンロードセンター『http://www.parallels.com/download/desktop/pdfm5-en_US』から最新のビルドをダウンロードします。ダウンロードが完了したら、Parallels Desktop DMG パッケージファイルを開きます。インストールを開始するには、[Install] をダブルクリックします。

Parallels Desktop のパッケージ版を購入した場合は、Parallels Desktop のインストールディスクを Mac の光学式ドライブに挿入します。Parallels Desktop DMG パッケージを開き、[Install] をダブルクリックします。

- 1 Parallels Desktop は、Parallels アップデート サーバーに接続され、使用できるアップデートが確認されます。最新バージョンの Parallels Desktop が使用可能な場合は、最新バージョンの Parallels Desktop がインストール用に提供されます。最新バージョンをインストールしない場合は、インストールメディアのバージョンをインストールすることができます。



- [現在のバージョンをインストール] をクリックすると、Parallels Desktop がインストールメディアからインストールされます。

- **[新しいバージョンのダウンロードとインストール]** をクリックすると、お使いの Mac に最新バージョンの Parallels Desktop がダウンロードされ、インストールされます。

使用できるアップデートがない場合、またはお使いの Mac がインターネットに接続されていない場合、Parallels Desktop は現在のインストールソースからインストールされます。

- 2 **[よろこ]** ウィンドウで、**[続ける]** をクリックします。
- 3 **[大切な情報]** ウィンドウで、製品の Read Me ファイルに目を通します。今後の確認のために、**[プリント]** をクリックしてこのドキュメントを印刷するか、**[保存]** をクリックして保存します。準備が完了した後、**[続行]** をクリックします。



注意: 前のステップに戻るには、**[戻る]** ボタンをクリックします。

- 4 [使用許諾契約] ウィンドウで使用許諾契約書をよく読みます。控え用に [プリント] ボタンを使用して使用許諾契約書を印刷するか、後で参照できるように [保存] ボタンを使用して保存することをお勧めします。準備が整ったら、[続行] をクリックします。



使用許諾契約の条件に同意する場合は、ポップアップダイアログで [同意する] をクリックします。

- 5 [カスタマエクスペリエンスプログラム] ウィンドウで、Parallels カスタマエクスペリエンスプログラムについて確認し、[続ける] をクリックします。
- プログラムに参加する場合は、ポップアップダイアログで [はい] をクリックします。参加しない場合は、[いいえ] をクリックします。

注意: 参加しないことを選択した場合も、Parallels Desktop の [環境設定] の [フィードバック] ペインを使用して後からプログラムに参加することができます。

- 6 [インストール先の選択] ウィンドウで、Parallels Desktop をインストールするハードディスクを選択します。Parallels Desktop はブートボリュームにのみインストールできます。ブートボリュームとは、Mac OS X がインストールされているハードディスクです。この他のディスクが存在する場合でも、インストール先として選択することはできません。[続行] をクリックします。

注意: Mac にボリュームが 1 つしかない場合、この手順は省略されます。

- 7 [インストール] をクリックして、Parallels Desktop のインストールを開始します。
- 8 パスワードの入力を求めるメッセージが表示されたら、パスワードを入力して [OK] をクリックします。
- 9 インストールの進行状況は、[インストール] ウィンドウに表示されます。
- 10 インストールが正常に終了したことを通知するメッセージが表示されます。インストールを完了するには、[閉じる] をクリックします。

インストール後は、Parallels Desktop を Mac の Applications フォルダから起動できます。Parallels Transporter、Parallels Image Tool などの Parallels Desktop アドオンは、/Applications/Parallels/ フォルダから使用できます。

Parallels Desktop 5 への アップグレード

Parallels Desktop 3 または 4 をバージョン 5 にアップグレードするには、Parallels オンラインストア『<http://www.parallels.com/jp/buyonline>』で Parallels Desktop アップグレードを購入する必要があります。アップグレード アクティベーション キーは、指定した電子メールアドレスに直ちに送信されます。

注意: Parallels Desktop 2 は Parallels Desktop 5 にアップグレードできません。

Parallels Desktop 3 または 4 は、Parallels Desktop 5 の任意のローカライズ版にアップグレードできます。たとえば、英語版の Parallels Desktop 4 を所有していて、それをドイツ語版の Parallels Desktop 5 にアップグレードしたい場合は、ドイツ語版のアップグレードを購入し、それをお使いの Mac にインストールして、アップグレード アクティベーション キーでアクティベートします。

アップグレードの前に、実行中のすべての仮想マシンをストップし、旧バージョンの Parallels Desktop を終了する必要があります。Parallels Desktop のアップグレード手順は、インストール手順とほぼ同じです。「Parallels Desktop のインストール『p. 9』」を参照してください。

アップグレードの前に Parallels Desktop の旧バージョンを削除する必要はありません。旧バージョンは Parallels Desktop 5 をインストールする前にインストーラによって自動的に削除されます。

アップグレード アクティベーション キーの使用

Parallels Desktop 5 をインストールした後、それをアップグレード アクティベーション キーでアクティベートする必要があります。アクティベーション プロセスを起動するには、[ヘルプ] メニューの [製品のアクティベート] を選択し、アクティベーション ダイアログ ボックスにアップグレード アクティベーション キーと必要な情報を入力します。Parallels Desktop 5 のアップグレード アクティベーション キーを購入した場合は、旧バージョン用の有効な無期限キーを所有していることを確認する必要があります。

- 無期限キーで Parallels Desktop の旧バージョンをアクティベートした場合は、入力が必要なキーはアップグレード キーのみとなります。
- Parallels Desktop を試用アクティベーション キーでアクティベートした場合は、2 つのキーの入力を求めるメッセージが表示されます。この 2 つのキーとは、旧バージョンに使用していたキーとバージョン 5 へのアップグレード キーです。
- 旧バージョンの Parallels Desktop を購入したが Mac にはインストールしていない場合は、Parallels Desktop 5 のみをインストールし、2 つのキーを使用してこれをアクティベートする必要があります。この 2 つのキーとは、アップグレード アクティベーション キーと旧バージョンの無期限キーです。

仮想マシン構成のアップグレードと Parallels Tools のアップデート

旧バージョンで作成した仮想マシンをスタートすると、アップグレード手順が自動的に開始および実行されます。アップグレードの間、仮想マシン構成と Parallels Tools が処理されます。その仮想マシンは、アップグレード後は Parallels Desktop 5 でのみ使用できます。

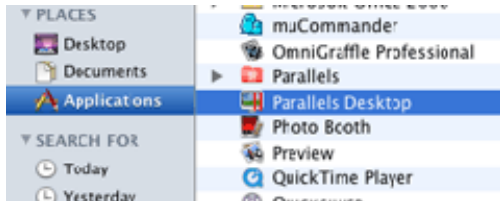
注意: Linux 仮想マシンでは、アップグレード後に X Server の起動に失敗することがあります。この場合は、Parallels Tools をテキスト モードで手動でアップグレードする必要があります。

アップグレード中に問題が発生した場合、アップグレード時のトラブルシューティングに関するページ『www.parallels.com/support/pdfm5_upgrade-en_US』を参照するか、[ヘルプ]>[トラブルシューティング ガイド]で使用できるオンラインのトラブルシューティング ガイドを使用します。

第 3 章

Parallels Desktop の起動

Parallels Desktop を起動するには、Finder で Applications フォルダを開き、[Parallels Desktop] をダブルクリックします。



Parallels Desktop を起動すると、そのアイコンが Dock 内に表示されます。

Parallels Desktop のアイコンを Dock に追加するには、次のいずれかの操作を実行します。

- 現在、Parallels Desktop を開いている場合は、Dock でそのアイコンを右クリックして、ショートカットメニューの [Dock に追加] を選択します。
- Finder で Applications フォルダを開き、Parallels Desktop のアイコンを Dock にドラッグします。

このプログラムを初めて起動すると、ようこそウィンドウが表示されます。このウィンドウには、Parallels Desktop での作業に役立つヒントが表示されます。

この章の構成

ようこそウィンドウ 16

ようこそウィンドウ

ようこそウィンドウを使用すると、Parallels Desktop の標準的なダイアログ ボックスやアシスタントにすばやくアクセスできます。

今後、このウィンドウを表示させない場合は、画面の左下の [スタートアップ時に表示] チェック ボックスをオフにします。

[ようこそ] 画面から、次のオプションに移動できます。

- **新しい Windows のインストール:** このオプションを選択すると、新規仮想マシンアシスタント 『p. 18』 が起動され、Windows、Linux、または Mac OS X オペレーティングシステムを搭載した仮想マシンを作成できます。
- **仮想マシンのインポート:** このオプションは、追加する仮想マシンを検索できる Finder ウィンドウを開きます。Parallels、VMware、Microsoft Virtual PC、または VirtualBox 仮想マシンを指定できます。Parallels 仮想マシンを開くと、登録され、仮想マシンの一覧に追加されます。VMware、Microsoft Virtual PC、または VirtualBox 仮想マシンを開くと、それを Parallels フォーマットに変換する Parallels Transporter が起動されます。Parallels Transporter の詳細については、『*Parallels Transporter ユーザー ガイド*』を参照してください。
- **仮想マシンを使用する:** このオプションにより、Parallels Desktop に登録されたすべての仮想マシンおよびお使いの Mac に格納されているサードパーティ仮想マシン (VMware、Virtual PC、Virtual Box) が含まれる仮想マシンの一覧 『p. 25』を開くことができます。サードパーティの仮想マシンを開くと、それを Parallels フォーマットに変換する Parallels Transporter が起動されます。Parallels Transporter の詳細については、『*Parallels Transporter ユーザー ガイド*』を参照してください。

注意: このメニュー アイテムは、少なくとも 1 つの仮想マシンがあれば、[ようこそ] 画面に表示されます。

[ビデオチュートリアルを見る] ボタンをクリックすると、Parallels Web サイト上で Parallels Desktop の簡単なチュートリアルを開いて表示できます。



第 4 章

仮想マシンの追加

Parallels Desktop では、複数の方法で仮想マシンを追加できます。新しい仮想マシンを作成し、旧バージョンの Parallels Desktop で使用した仮想マシンを登録するか、VMware、Microsoft Virtual PC、または VirtualBox 仮想マシンをインポートします。

追加した仮想マシンを実行するには、Parallels Desktop をアクティベートする必要があります。


この章の構成

新しい仮想マシンの作成.....	18
仮想マシンを開くおよびインポート.....	21
Parallels Tools のインストールとアップデート.....	22

新しい仮想マシンの作成

仮想マシンが存在しない場合は、新規仮想マシンアシスタントで新しい仮想マシンを作成することから Parallels Desktop での作業を開始します。

新しい仮想マシンを作成するには：

- 1 Parallels Desktop を起動し、ウェルカム ウィンドウ 『p. 16』 で [Windows のインストール] を選択するか、Parallels 仮想マシンリスト 『p. 25』 の下部で  ボタンをクリックして、新規仮想マシンアシスタントを起動します。



or



- 2 オペレーティングシステムのインストールディスクを挿入するか、インストールソースを Mac に接続します。[オペレーティングシステムの検出] ウィンドウでインストールファイルのソースを指定し、[続行] をクリックします。オペレーティングシステムが自動的に検出され、ユーザー名と Windows プロダクトキー (Windows をインストールしている場合) またはパスワード (Linux をインストールしている場合) の入力を求められます。



お使いの Mac に Boot Camp パーティションが構築されていて、このウィンドウで [Boot Camp パーティション] オプションを選択した場合、アシスタントは、Boot Camp 仮想マシンの作成を続行します。詳細な情報は、*Parallels Desktop* ユーザーガイドの **Boot Camp パーティションの仮想マシンの作成** を参照してください。

オペレーティングシステムの自動検出を行わない場合、[検出のスキップ] をクリックしますこの場合、オペレーティングシステムを手動で選択し、インストールの種類を指定する必要があります。インストールモードは、高速、標準、カスタム、の中から選択できます。

- 3 ユーザー名やインストールに必要なその他の詳細情報を入力し、[続行]をクリックします。
- 4 作成を始める前に仮想マシン名やフォルダ共有など、仮想マシンの追加オプションを指定できます。準備が完了した後、[作成]をクリックします。

注意: その他の設定を指定するには、[詳細]をクリックします。



- 5 アシスタントによって設定に基づいた仮想マシンが作成され、そこにオペレーティングシステムと Parallels Tools がインストールされます。

注意: Parallels Tools は、Windows 7、Windows XP、Windows Vista、Windows Server 2003、Fedora 9、Redhat Enterprise Linux 5、Ubuntu 9、および Ubuntu 8 のシステムに自動的にインストールされます。他のオペレーティングシステムの場合は手動『p. 22』でインストールする必要があります。


新しく作成した仮想マシンには、仮想マシンの一覧『p. 25』からアクセスできます。この一覧を使用して仮想マシンを簡単に管理できます。

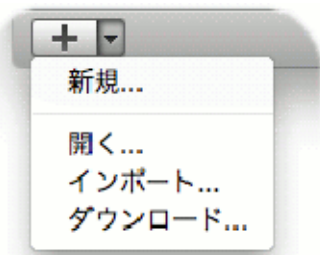
Windows 仮想マシンを作成すると、パスワードが空の管理者アカウントが作成されます。ゲスト OS のインストールが完了したら、パスワードを変更することをお勧めします。

仮想マシンを開くおよび インポート

Parallels Desktop 5 では、Parallels Desktop や、VMware Fusion、Microsoft Virtual PC、VirtualBox などの他の仮想化製品で作成された仮想マシンを使用できます。そのために必要な作業は、これらの仮想マシンを Parallels Desktop 5 のフォーマットに変換することだけです。この変換は、これらの仮想マシンを Parallels Desktop に追加したときに実行されます。

Mac 上の既存の仮想マシンを追加するには:

- 1 [ファイル]メニューの [開く] をクリックするか、[Parallels 仮想マシン] 一覧『p. 25』の左下隅にある下矢印ボタン  をクリックしてメニューの [開く] を選択します。



- 2 Finder ウィンドウで仮想マシンのバンドルまたは構成ファイルを探してこれを選択し、[開く] をクリックします。
 - Parallels Desktop 仮想マシン バンドルの拡張子は .pvm です。
 - Parallels Desktop 3 以前の構成ファイルの拡張子は .pvs です。
 - VMware 構成ファイルの拡張子は .vmx です。
 - Virtual PC 構成ファイルの拡張子は .vmc です。
 - VirtualBox 構成ファイルの拡張子は .xml です。

注意: Parallels Desktop および VMware Fusion 仮想マシンは、Mac OS X にファイルのバンドルとして格納されている可能性があります。構成ファイルは仮想マシンバンドル内部に格納されています。

- 3 以下の手順は、選択した仮想マシンによって異なります。
 - Parallels Desktop 4 または 5 で作成された仮想マシンを選択すると、そのウィンドウが開きます。この仮想マシンをスタートすると、Parallels Desktop は Parallels Tools をアップデートするように要求します。
 - Parallels Desktop 3 以前で作成された仮想マシンを選択すると、そのウィンドウが開き、Parallels Desktop はそれを新しいフォーマットに変換するように要求します。このプロセスには長時間かかる場合があります。

- サードパーティの仮想マシンを選択すると Parallels Transporter が起動します。その画面の指示に従って、この仮想マシンを Parallels Desktop 5 のフォーマットに変換します。詳細については、『*Parallels Transporter ユーザーガイド*』を参照してください。
- 4 旧バージョンの Parallels Desktop またはサードパーティのアプリケーション (VMware Fusion、Microsoft Virtual PC、または VirtualBox) で作成した仮想マシンを追加した場合、そこに Parallels Tools をインストールする『p. 22』必要があります。

さらに、Parallels 仮想マシンを Parallels Desktop 5 に追加する場合は、その .pvm バンドルまたは .pvs 構成ファイルを探して、それを仮想マシンの一覧にドラッグするだけです。

Parallels Desktop がアクティベートされていない場合、仮想マシンが Parallels Desktop 5 に追加されたときに、アクティベートするためのプロンプトが表示されます。アクティベートの詳細については、「Parallels Desktop のアクティベート『p. 23』」を参照してください。

Parallels Tools の インストールとアップデート

Parallels Tools をインストールまたはアップデートするには:

- 1 仮想マシンをスタートして、ゲストオペレーティングシステムにログインします。
- 2 [仮想マシン] メニューの [Parallels Tools のインストール] (または [Parallels Tools のアップデート]) を選択します。

注意: [Parallels Tools のインストール] オプションが灰色表示になっている場合は、ゲストオペレーティングシステムに Parallels Tools をインストールできるかどうかを確認してください。Parallels Tools でサポートされるゲスト OS の一覧を確認するには、[ヘルプ] メニューからアクセスできる [Parallels Desktop のヘルプ] の「Parallels Tools の概要」を参照してください。

- 3 Parallels Tools インストール ウィザードが開きます。
- 4 [よろこ] ウィンドウで、[インストール] をクリックします。ウィザードは自動インストールを開始します。
- 5 インストールが完了したら、[再起動] をクリックしてウィザードを終了し、仮想マシンを再スタートします。

Parallels Tools をインストールするための詳細な手順については、[ヘルプ] メニューの [Parallels Desktop ヘルプ] を参照してください。

第 5 章

Parallels Desktop のアクティベート

Parallels Desktop のすべての機能を使用するには、アクティベーション キーでアクティベートする必要があります。このプログラムのパッケージ版を購入した場合は、ユーザー登録のご案内または、クイックスタートガイドの裏面のアクティベーション キーを確認してください。プログラムをオンラインで購入した場合、アクティベーション キーは電子メールで送信されます。購入前の評価を目的として Parallels Desktop をダウンロードした場合は、一定の有効期間が設定された試用アクティベーション キーが提供されます。

Parallels Desktop のアクティベート後は、仮想マシンを実行してオペレーティング システムや各種のアプリケーションを仮想マシンにインストールできます。

Parallels Desktop を旧バージョンからバージョン 5 にアップグレードした場合、Parallels Desktop 5 をアクティベートするためにアップグレードアクティベーション キーが必要です。詳細については、「Parallels Desktop 5 へのアップグレード『p.13』」を参照してください。

Parallels Desktop のアクティベート

Parallels Desktop をアクティベートするには:

- 1 [ヘルプ] メニューの [製品のアクティベート] を選択します。
- 2 アクティベーション ダイアログ ボックスで、[名前] および [組織] フィールド (オプション) に名前と会社名を指定し、[アクティベーション キー] フィールドにアクティベーション キーを入力します。[OK] をクリックしてアクティベートします。



Parallels Desktop がアクティベートされた後は、仮想マシンを作成してオペレーティングシステムをインストールし、仮想マシンのアプリケーションを Mac のアプリケーションと並べて使用できるようになります。

第 6 章

仮想マシンの管理

この章では、Parallels 仮想マシンで頻繁に実行される主な日常操作の概要について説明します。

この章の構成

[Parallels 仮想マシン] 一覧	25
仮想マシンでの主要動作の実行	29
仮想マシンの構成	33

[Parallels 仮想マシン] 一覧

[Parallels 仮想マシン] 一覧には、Parallels Desktop に既に登録されている仮想マシンが表示されます。

注意: Parallels Desktop に仮想マシンを登録していない場合、仮想マシンの一覧は表示されません。

[Parallels 仮想マシン] 一覧を開くには:

- [ウィンドウ] メニューの [仮想マシンリスト] を選択します。
- Dock で Parallels Desktop のアイコンを右クリックして、ショートカットメニューの [仮想マシンリスト] を選択します。
- [ようこそ] 画面『p. 16』で [仮想マシンを使用する] オプションをクリックします。仮想マシンが存在しない場合は、新規仮想マシンアシスタント『p. 18』が表示されます。
- [ようこそ] 画面の表示を無効にしている場合は、Parallels Desktop の起動時に必ずこのウィンドウが表示されます。


注意: [ようこそ] 画面の表示を無効にするには、この画面で [スタートアップ時に表示] オプションをオフにします。




一覧

[Parallels 仮想マシン] 一覧には、お使いの Mac に格納されている登録済みの仮想マシンとサードパーティの仮想マシン、およびこの一覧を管理するためのメニューがあります。

仮想マシンの一覧を使用して、登録済みの Parallels 仮想マシンによる以下の処理を実行できます。

- **仮想マシンを開く:** 一覧の仮想マシン名をクリックすると、その仮想マシンのウィンドウが表示されます。
- **仮想マシンをスタートする:** [スタート] ボタン  をクリックするか、仮想マシンを右クリックしてショートカットメニューの [スタート] を選択します。
- **仮想マシン構成を編集する:** 仮想マシンを右クリックし、ショートカットメニューの [構成] を選択します。
- **Mac 上で仮想マシンファイルを検索する:** 仮想マシンを右クリックし、ショートカットメニューの [Finder に表示] を選択します。
- **仮想マシンを再調整する:** 仮想マシンを目的の位置にドラッグします。
- **仮想マシンを削除する:** 一覧から仮想マシンをドラッグするか、仮想マシンを右クリックしてコンテキストメニューの [削除] を選択します。この仮想マシンは後から一覧に戻すことができます。
- **仮想マシンに色を割り当てる:** 仮想マシンを右クリックし、ショートカットメニューで目的の色を選択します。Finder では、仮想マシンの .pvm バンドルが同じ色で示されます。

仮想マシン テンプレートを右クリックすると、やや異なるコマンドが表示されます。テンプレートを起動できないため [スタート] ボタン  は使用できませんが、[仮想マシンに変換] オプションまたは [仮想マシンに展開] オプションは選択できます。

仮想マシン ファイルがリモート USB デバイスまたはネットワーク サーバーに格納されている場合、対応するアイコンが仮想マシン名の右に表示されます。

サードパーティの仮想マシン

Parallels Desktop を起動すると、Spotlight 検索を使用して Mac に格納されているすべてのサードパーティ仮想マシン (VMware、Microsoft Virtual PC、Virtual Box) が探され、[Parallels 仮想マシン] 一覧に追加されます。これらのマシンを使用する前に、それらを Parallels Desktop のフォーマットに変換する必要があります。サードパーティの仮想マシンを開くと、Parallels Transporter が起動するので、画面の指示に従って変換を行います。






サードパーティの仮想マシンを Parallels Desktop フォーマットに変換しない場合は、それを [Parallels 仮想マシン] 一覧から削除するだけです。今後も一覧には追加されません。

メニュー

このメニューは、[Parallels 仮想マシン] 一覧の左下隅にあります。





このメニューを使用して、以下のことが行えます。


- **新しい仮想マシンを作成する:**  ボタンをクリックすると、新規仮想マシンアシスタント『p. 18』が起動します。あるいは、 ボタンをクリックして、メニューの [新規] を選択します。
- **既存の仮想マシンを一覧に追加する:**  ボタンをクリックし、メニューの [開く] を選択して、お使いの Mac、外部 USB ストレージ、またはネットワークに格納されている既存の仮想マシンを追加します。
- **物理コンピュータまたは仮想マシンをインポートする:**  ボタンをクリックし、メニューの [インポート] を選択して、物理コンピュータまたは仮想コンピュータ (VMware、Microsoft Virtual PC、または VirtualBox) を Mac 上の Parallels 仮想マシンに移行します。このとき、Parallels Transporter を使用します。
- **仮想アプライアンスをダウンロードする:**  ボタンをクリックし、メニューの [ダウンロード] を選択します。Parallels 仮想アプライアンス ディレクトリ『<http://ptn.parallels.com/en/ptn/dir>』のページが開きます。仮想アプライアンスを選択してダウンロードします。

仮想マシンでの主要動作の実行

仮想マシンの状態の変更

ステータスバーの [仮想マシンのステータス] メニュー  を使用して仮想マシンのスタート、シャットダウン、サスペンド、または状態の管理を実行できます。 [仮想マシンのステータス] ボタン  を使用して、以下の操作が行えます：

- 仮想マシンがストップしている場合は、仮想マシンをスタート
- 仮想マシンが実行している場合は、仮想マシンをサスペンド
- 仮想マシンがサスペンドまたは一時停止している場合は、仮想マシンをレジューム

[仮想マシンのステータス] ボタンの近くの下矢印ボタン  をクリックして、メニューから目的のコマンドを選択することもできます。



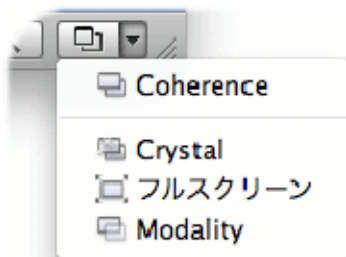
また、[Parallels 仮想マシン] リスト『p. 25』や、[仮想マシン] メニューを使用して、仮想マシンのスタート、ストップ、一時停止、サスペンド、レジューム、リセット、シャットダウンをコントロールできます。

仮想マシンの表示モードの切り替え

実行中の仮想マシンでは、次の表示モード間での切り替えを実行できます：

- **ウィンドウモード**。このモードでは、仮想マシン画面が別ウィンドウとして表示されます。これは、デフォルトの表示モードです。
- **フルスクリーンモード**。このモードでは、仮想マシン画面が物理コンピュータの画面いっぱいに拡大されます。
- **Coherence モード**。このモードでは、仮想マシンのデスクトップは表示されないのので、Mac OS X で仮想マシンのアプリケーションウィンドウを表示して、それらを Mac OS X アプリケーションの隣に並べて作業できます。
- **Modality モード**。このモードでは、Mac OS X で作業している間、仮想マシンとその内部で実行されているプログラムを可変の透過ウィンドウに表示できます。デフォルトでは、このウィンドウは開かれているすべてのウィンドウの手前に表示されるので、Mac OS X で作業しながら仮想マシンを管理できます。
- **Crystal モード**。Crystal モードは Coherence モードに似ていますが、いくつか追加されています。このモードでは、Mac メニューバーの Parallels ステータスアイコン以外のすべての Parallels Desktop コントロール要素、アイコン、およびメニューが表示されません。

表示モードを切り替えるには、仮想マシンウィンドウ右側隅の [表示モード] メニューを使用します。



Windows アプリケーションのインストール

次のメディアを使用して、実行中の仮想マシンにお気に入りの Windows アプリケーションをインストールできます：

- CD および DVD ディスク
- サードパーティのイメージング製品を使用して作成された CD または DVD ディスクのイメージ

注意： Parallels Desktop は、ISO、CUE、CCD、および DMG の種類のイメージファイルをサポートします。

実 CD/DVD ディスクを使用するには：

- 1 ディスクを Mac の CD/DVD ドライブに挿入します。
- 2 次のいずれかを実行します：
 - ステータスバーの CD/DVD アイコンをクリックして、ショートカットメニューの [実 CD/DVD] を選択します。
 - [デバイス] メニューで [CD/DVD 1] > [実 CD/DVD] を選択します。

ディスクのイメージを使用するには：

- 1 次のいずれかを実行します：
 - ステータスバーの CD/DVD アイコンをクリックして、ショートカットメニューの [イメージの接続] を選択します。
 - [デバイス] メニューで [CD/DVD 1] > [イメージの接続] を選択します。

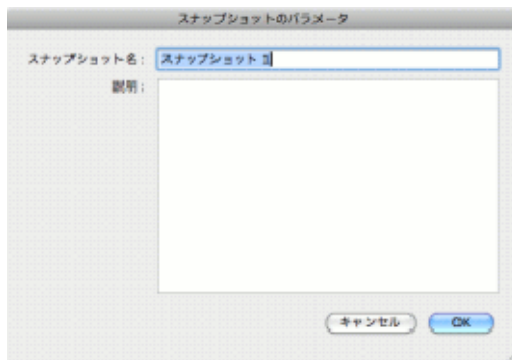
2 イメージファイルを指定します。

この後のインストールの手順については、インストールするアプリケーションのドキュメントを参照してください。

仮想マシンのスナップショットの作成

スナップショットは、仮想マシンの実行中、一時停止、またはストップ中に作成できます。スナップショットを作成するには、次の操作を実行します：

- 1 [仮想マシン]メニューの[スナップショットの作成]を選択します。
- 2 [スナップショットのパラメータ]ウィンドウで、[スナップショット名]フィールドにスナップショットの名前を入力します。必要な場合には簡単な説明も入力します。



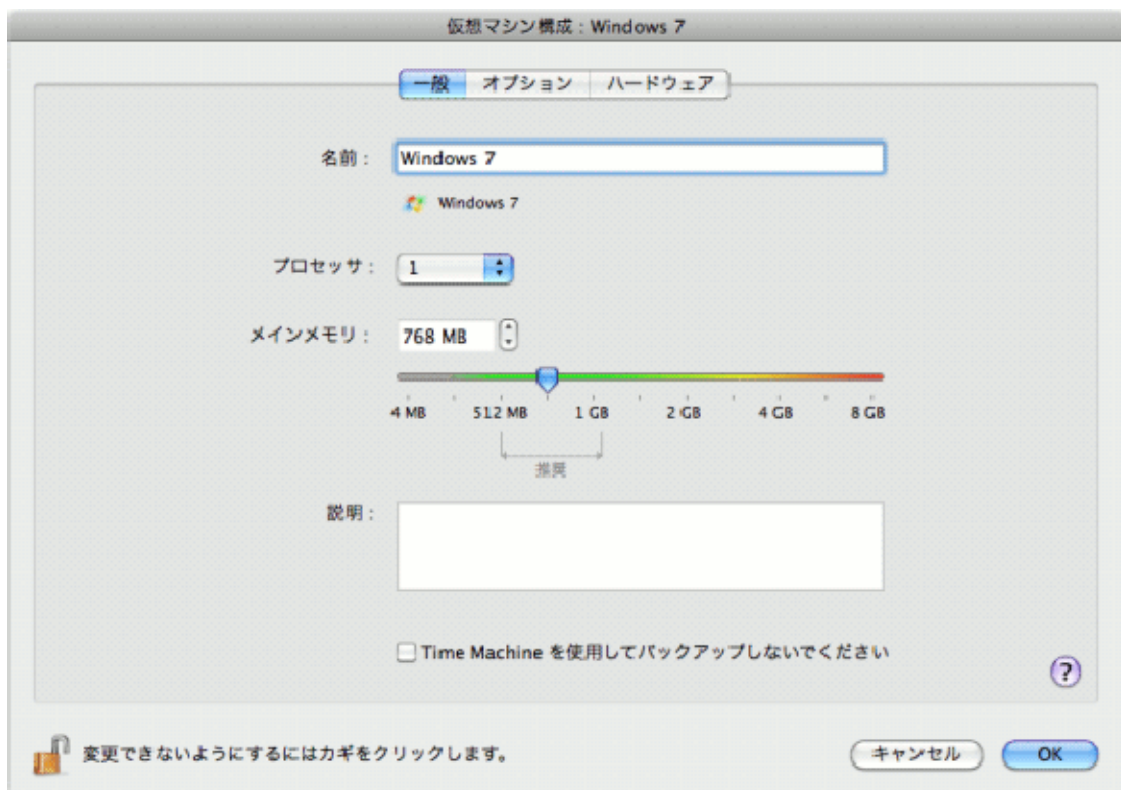
- 3 [OK]をクリックします。

作成したスナップショットにアクセスするには、[仮想マシン]メニューの[スナップショットマネージャ]を選択するか、仮想マシンメインウィンドウのツールバーの[スナップショットマネージャ]アイコンをクリックして、[仮想マシンスナップショット]を開きます。

仮想マシンの構成

既存の仮想マシンの構成は、[仮想マシン構成] ダイアログ ボックスで変更できます。
[仮想マシン構成] ダイアログ ボックスを表示するには、次のいずれかを実行します。

- 仮想マシン メイン ウィンドウのツールバーの [構成] ボタンをクリックする。
- [仮想マシン] メニューの [構成] を選択する。
- [仮想マシンディレクトリ] ウィンドウで仮想マシンを右クリックして、[構成] を選択する。



[仮想マシン構成] では、さまざまな方法で仮想マシンを構成できます。たとえば、次の操作を実行できます。

- [一般] ペインで仮想マシンの一般オプションを構成します。
- [ブート] ペインで仮想マシンのブート オプションを定義します。
- 仮想マシンで現在使用可能な次のデバイスに対し、別のパラメータを構成します: ハードウェア ディスク ドライブ、CD/DVD-ROM ドライブ、フロッピー ディスク ドライブなど。
- 仮想マシンに現在設定されている次のリソースの値を構成します: メイン メモリ、ビデオ メモリ、CPU など。
- 仮想マシンに新しいデバイスを追加したり、既存のデバイスを削除します。

[仮想マシン構成] で構成できるすべてのパラメータについての詳細な情報は、『*Parallels Desktop ユーザー ガイド*』に記載されています。

索引

- [
- [ウィンドウ] 表示モード - 29
- C
- Coherence モードへの切り替え - 29
- P
- Parallels Desktop
 - インストール - 9
 - ツールバー - 29
 - 起動 - 15
- Parallels Desktop の概要 - 5
- Parallels ダウンロードセンター - 9
- W
- Windows
 - アプリケーション - 29
- Windows タスクバー
 - Coherence モード - 29
- あ
- インストール
 - Parallels Desktop - 9
 - Windows アプリケーション - 29
- インターフェース
 - ツールバー - 29
 - ようこそウィンドウ - 16
 - 仮想マシンの一覧 - 25
- オペレーティングシステム
 - プライマリ OS の要件 - 8
- か
- ゲストオペレーティングシステム - 5
 - 定義 - 7
- さ
- システム要件 - 8
- スナップショット
 - 作成 - 29
- スナップショットの作成 - 29
- スナップショットマネージャ - 29
- ソフトウェア使用許諾契約書 - 9
- た
- ツールバー
 - アイコンセットの変更 - 29
- デバイス
 - 仮想マシンの構成 - 33
 - 仮想マシンへ追加 - 33
- ドキュメント フィードバック ページ - 7
- は
- ハードウェア要件 - 8
- プライマリオペレーティングシステム
 - サポートされるプライマリ OS - 8
 - 定義 - 7
- フルスクリーンモード
 - フルスクリーンへの切り替え - 29
 - 切り替え用のキーの組み合わせ - 29
- フルスクリーンモードへの切り替え - 29
- ヘルプメニュー - 6
- ま
- メモリ設定 - 33
- や
- ようこそ画面 - 16
- 漢字
- 仮想マシン
 - サスペンド - 29
 - シャットダウン - 29
 - スナップショットの作成 - 29
 - レジューム - 29
 - 一時停止 - 29
 - 開く - 25
 - 構成 - 33
- 仮想マシンのサスペンド - 29
- 仮想マシンのシャットダウン - 29
- 仮想マシンのレジューム - 29
- 仮想マシンの一時停止 - 29
- 仮想マシンの終了 - 29

- 仮想マシンの設定
 - 構成の編集 - 33
- 仮想マシン構成 - 33
- 仮想マシン構成の編集 - 33
- 起動
 - Parallels Desktop - 15
 - 仮想マシン - 25
- 作成
 - 仮想マシン - 16, 25
- 情報の取得 - 6
- 追加
 - CD/DVD-ROM ドライブ - 33
 - USB コントローラ - 33
 - Web アプリケーション - 33
 - サウンド デバイス - 33
 - シリアルポート - 33
 - ネットワークアダプタ - 33
 - ハードウェアデバイス - 33
 - パラレルポート - 33
 - フロッピー ディスク - 33
 - 仮想ハードディスク - 33
 - 共有アプリケーション - 33
 - 共有フォルダ - 33
- 表示モード - 29
- 表示モード切り替えのあいだ - 29